

第33回岩手県勤労者美術展 審査評

開催期間 2014年11月20日(木)～23日(日)

表彰式 2014年11月23日(日)午後12時30分～ 盛岡市民文化ホール・展示ホール

「絵画の部」 出展数 57点

審査員：及川 久 氏
おいがわ ひさし

賞	氏名	作品名	作品評
岩手県知事賞	堀米 英子	初秋	リンゴ園の情景が力強く表現されており情熱的なタッチと落ち着いた色彩、堅実な描写力が大変すばらしい。
優秀賞	菅原 東一郎	早春のあぜ道	山野のあぜ道を力強く感覚的にとらえて表現されている印象に残る良い作品。
奨励賞	大澤 和江	冬の棚田	今はあまり見られなくなった棚田を的確な描写力で統一された色彩によって表現されているのが良い。
奨励賞	辻 齊一	北の廃屋	気どりや構えもなく実に素直に的確な描写力で描かれているすばらしい作品。
佳作	高橋 ツネ子	廃船	海辺の廃船。質感を考えながら表現されていてとても良い作品。背景の処理を工夫すればもっと良くなる。
佳作	佐々木 幸子	野ぶどう (秋のプレゼント)	的確な描写によって構図を考え表出されているのが良い。
佳作	田中 京子	秋彩	押し花とか何かも考えず絵画表出として観ました。材質を効果的に使い統一された色彩で深みのある良い作品。
佳作	伊藤 勇	城址	ひと雨来る前の城址の秋が素直に表現されている良い作品。
審査員特別賞	鈴木 つや子	静寂	冬の静寂感が骨太な筆致と深みのある色彩で表出されているのが良い。

総評 今年は大変すばらしい作品が多く、また描写力も高まり、大小に限らず一生懸命描いている作品が見られました。更には画面構成と色彩を考慮して創作活動して下さい。

「その他(切り絵)の部」 出展数 22点

賞	氏名	作品名	作品評
特別賞	小倉 善文	鬼剣舞	静と動が一画面に配置されていて、より印象的に表出されておりとても良い。

総評 切り絵の場合、とかく黒で骨太しかも単純化された平面構成ですがその中に立体感を加味し、画面に動きを生じさせることも大切だと思います。したがって、背景の色彩の工夫をしてほしいです。

第33回岩手県勤労者美術展 審査評

開催期間 2014年11月20日(木)～23日(日)

表彰式 2014年11月23日(日)午後12時30分～ 盛岡市民文化ホール・展示ホール

〈写真の部〉 NO.1 出展数 90点

おがわ ふみお
審査員：小川 文男 氏

賞	氏名	作品名	作品評
岩手県知事賞	福盛田 美奈子	珍客	完成度の高い素晴らしい作品。それぞれのディテールが美事。
優秀賞	佐藤 文明	豊作の喜び	画題通りの喜びが強く表現されている。構成力がある。
奨励賞	伊藤 勇	儀式	何の儀式か解らなくとも面白い。画作りです。
奨励賞	福盛田 弘	穏やかな小正月	時間帯の作画が成功した。技術のしっかりした作品です。
奨励賞	坂下 栄次郎	早春の花	春まだ浅い空気感がよくでている。アップ気味で幻想的。
佳作	遠藤 政美	①真夏の宴	暗い夜の光の強調。カメラ設定がよかったです。
佳作	北井崎 昇	心は一つ	主題を生かすバック処理が画面を引きしめている。
佳作	阿部 正介	虹色とんぼ	普通見ることの出来ない色調を見事に出している。
佳作	金谷 規倭子	仲良し	猫それぞれの表情を瞬間に捉えていて良かった。
佳作	板垣 弘清	秋日和	美しいものをより美しく捉えている。心やすらぐ。

〈〈写真の部〉〉 NO.2

賞	氏名	作品名	作品評
親子 ふれあい賞	千田 久	「ママは大忙し!」	ベテランらしい上手な作品。
親子 ふれあい賞	阿部 マツエ	親子	二人の表情がすごく良い。
親子 ふれあい賞	吉田 均	パパと折り紙	黙々と折り紙をする父子の表情が良い。
審査員 特別賞	齊藤 俊介	群舞	面白いモニュメントを画面の中央に配し周囲をうまく取り込んでいる。

総評

応募点数は変わりなく、毎年のことながらいい写真が数多くありました。賞には限りがあるので、しおりなく入選にならなかったものがありました。お許しください。上位作品は、いずれも甲乙つけがたく、完成度の高さで順位を決めました。ネイチャーフォトとスナップフォトに大別して、スナップの応募が少ないので残念でした。時代性なのでしょうか。来年に期待いたします。

第33回岩手県勤労者美術展 審査評

開催期間 2014年11月20日(木)～23日(日)

表彰式 2014年11月23日(日)午後12時30分～ 盛岡市民文化ホール・展示ホール

「書道の部」 出展数17点

よしだ しんぶう
審査員：吉田 晨風 氏

賞	氏名	作品名	作品評
岩手県知事賞	中村 梨絵	郊行即事	温かい流動感ある筆致で、しかも行間を効果的に広くとって、スケールの大きな作品となっている。余裕の感じる品のある行草作品。
優秀賞	高橋 美樹	臨・雁塔聖教序	褚遂良の雁塔聖教序の臨書作品。多様な筆遣いで、規模も大きく、一貫した書きぶりは見事である。
奨励賞	大矢 幸一 (瑞峰)	全唐詩	量感のある線条で、他を圧する気迫を感じる。黑白の対比が美しい。
佳作	浅沼 実佐子	同獮猴	寧楽百首の中の一首を鉄斎の霧囲気を用いての作。単体ながら墨の潤渴を生かし、自然な全体の流れを意識した効果が表現されている。
佳作	藤澤 春菜	臨・礼器碑	後漢時代の礼器碑の臨書。隸書の基本を忠実に表現した落ち着いた作。これからの展開に期待したい。
佳作	石村 廣志	新古今和歌集	新古今和歌集のうたを中字で表現した作。よく筆が動いて、渴筆が自然に出て作品効果をあげている。最後の収め方がすばらしい。
審査員特別賞	川下 洋美 (子鳳)	人間到處有青山	小さい作ながら、作品構成、筆力等、大作に負けない強さを感じる魅力ある作。

総評

新たな出品者もあって、それぞれに心を打つ作品が多く、いい展覧になっています。作品は作者の顔が出てこそその作品です。さらに精進したいものです。次回にはさらにたくさんの方が出展してくださるよう期待しています。